

十一月二十六日（月）

## 「誰かの幸せが自分の幸せ②」

### 人の親切に感謝することは、さらに尊し

朝、登校時にみなさんの安全を見守るスクールガードさんや交通指導員さんが交差点や信号のある横断歩道で立っていらっしゃいます。その方たちは、きっとあなたたちが小学生だった頃から、ずっと見守ってくださっていると思います。小学校の時は元気に「おはようございます！」と言いました。中学生になったら、無言で走り去る・・・？。あなたは、横断歩道を渡っています。左折してきた車が止まってくれました。下を向いて無言で渡る・・・？。あなたが登校中、地域の人が「おはよう！」と声をかけてくださいました。その時、あなたは無言・・・？

夜の8時過ぎ、信号のない道路を自転車に乗った高校生が6・7人西から東に渡ろうとしていました。右折する私は、高校生に渡るように合図しました。全員が、おじぎをして「ありがとうございます」と言って渡りました。何気ないことなんですが、互いの気持ちを「幸せ」にする。「幸せ」な気分になるってそういうことでは。